

142 オジロビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク: 注

Ficedula albicilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

ロシアからモンゴル北部、中国北東部などで繁殖し、繁殖後は南方に渡る。かつてはヨーロッパからロシア西部などで繁殖するニシオジロビタキも同種とされていたこと等から、古い記録は両種ともオジロビタキと記されている場合が多く、分布や生息状況について検証の余地があるとされる。平地から山地の針葉樹林や落葉広葉樹林、都市緑地などに生息し、主に昆虫類や草木の実などを採食する。

国内分布

北海道、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：森田俊司

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、豊岡市、加古川市、三田市、淡路市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に12-翌2月に記録がある。1983年12月に西宮市夙川で確認されたのが最初で、その後、断続的に県南部と北部で記録されている。最近では近似種ニシオジロビタキの記録が神戸市などで増加している一方、本種の記録が見当たらない。そのため、過去の記録を含め、本種の分布や生息の実態を精査するとともに、今後の動向に注目する必要があることから要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

県内では、平地の自然環境の残る林で観察例が多いため、そのような環境を都市緑地などで保全・再生することが重要。